

履修科目

2年

農学総合科目（*）
農学基礎科目（*）

農学リテラシー

環境倫理（選択必修）

（*）農学総合科目（4単位以上）と農学基礎科目（選択科目6単位以上）を併せて18単位以上を取得。22単位まで卒業の単位に参入することができる。



海外実習（ベトナム）



国際農学実習・実験II

4年

卒業論文（通年随時）

3年

【S1 ターム（4月～6月）】

国際農業生態学

国際森林環境学

国際植物利用学

国際水産開発学

国際農業工学

国際動物資源科学

環境経済学

環境生物化学

国際農学情報処理演習

国際農学実験・実習I

生命倫理（選択必修）

【SP/S2 ターム（6月～9月）】

農場実習

森林実習

臨海実習

牧場実習

海外実習（選択）

国際農学実験・実習I

ISAD Summer Crop Management（選択）

【A1 ターム（9月～11月）】

国際農学情報処理演習

国際地域農業開発と生産者組織（選択）

英語表現法

ISAD Food Resources（選択）

ISAD Crop Modelling（選択）

ISAD Summer Crop Management（選択）

ISAD Winter Crop Management（選択）

【A2 ターム（11月～1月）】

国際開発農学概論

英語表現法

国際農学実験・実習II（選択）

技術倫理（選択必修）

ISAD Food Resources（選択）

ISAD Crop Modelling（選択）

ISAD Soil Fertility Management（選択）

ISAD Economics（選択）

ISAD Winter Crop Management（選択）

【W ターム（1月～2月）】

国際開発農学概論

国際農学実験・実習II（選択）

ISAD Soil Fertility Management（選択）

ISAD Economics（選択）

ISAD Winter Crop Management（選択）

教育ネットワーク

国際開発農学専修では、2年間の学習期間を通して、様々な角度から21世紀の国際協力や開発援助のあり方を学生諸君なりに模索してもらいたいと考えています。このような教育理念を実現するため、当専修は本学大学院農学生命科学研究科の7つの専攻（生産・環境生物学専攻、森林科学専攻、水圏生物科学専攻、農業・資源経済学専攻、生物・環境工学専攻、生物材料科学専攻、農学国際専攻）の協力によって運営されています。

3年次には4つの附属施設（生態調和農学機構、演習林、牧場、水産実験所）において実習を行います。農場実習（生態調和農学機構）、森林実習（演習林）、牧場実習（牧場）、水産実習（水産実験所）附属施設の教員は実習の現場で直接指導します。

国際農学実験・実習では共通の基礎実験を行った後、個別の研究室を選択し、独自のプログラムで応用的な実験・実習を行います。ここで個々の教員の研究に触ることができます。

大学院農学生命科学研究科

生産・環境生物学専攻

森林科学専攻

水圏生物科学専攻

農業・資源経済学専攻

生物・環境工学専攻

生物材料科学専攻

農学国際専攻

国際水産開発学研究室

国際動物資源科学研究室

国際植物資源科学研究室

国際植物材料科学研究室

国際森林環境学研究室

新機能植物開発学研究室

国際農業開発学研究室

国際環境経済学研究室

国際情報農学研究室

附属施設

生態調和農学機構 → 農場実習（東京都西東京市）

演習林 → 森林実習（静岡県賀茂郡南伊豆町）

牧場 → 牧場実習（茨城県笠間市）

水産実験所 → 水産実習（静岡県浜松市）

卒業論文

卒業論文は必須科目で、農学国際専攻の9つの研究室（国際水産開発学研究室、国際動物資源科学研究室、国際植物資源科学研究室、国際植物材料科学研究室、国際森林環境学研究室、新機能植物開発学研究室、国際農業開発学研究室、国際環境経済学研究室、国際情報農学研究室）をはじめとする7つの関連専攻および4つの附属施設の中から履修を希望する研究室を選択することができます。



卒論発表会

国際開発農学フォーラム

フォーラムは年間に数回程度開催されます。教員も協力しますが、原則として学生により企画運営されています。ここでは既成の講義の枠を越えて、国際協力最前線の話を聞くことができます。